

【計画】 3-2 降雪量と融雪時期の変化が水資源管理及び地下水資源の利用に与える影響調査

【分野:水資源、対象地域:富山県、(石川県、福井県、岐阜県、長野県、愛知県、名古屋市)】

地域適応コンソーシアム中部地域事業

■ 目的

- ・将来の気候変動による降雪・積雪量や融雪時期の変化によって、河川流量や地下水賦存量が変動することが考えられる。近年、当該地方周辺では最深積雪の減少や春季の気温の上昇がみられつつあり、これらの変化は融雪量や融雪時期の変化をもたらすため、今後、各種の用水利用等への影響が懸念される。
- ・本調査では、富山県において、黒部川流域をモデル地域として調査を行うとともに他地域でも検討を行い、積雪量と河川流量、地下水賦存量との関係を明らかにし、将来の気候変動時における水資源利用に関する適応策を検討する。

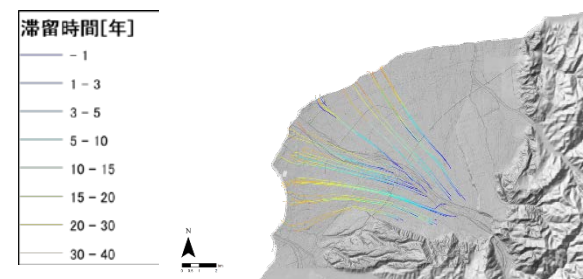


図. 黒部川扇状地の地下水の滞留時間の解析結果の例
(提供:富山県立大学 手計准教授)

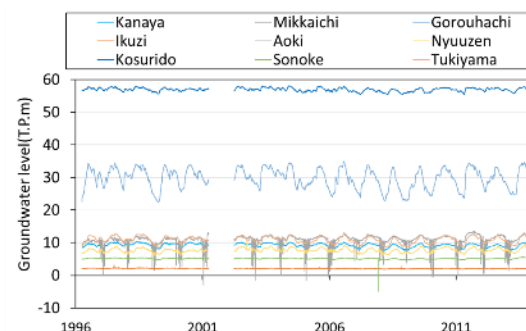
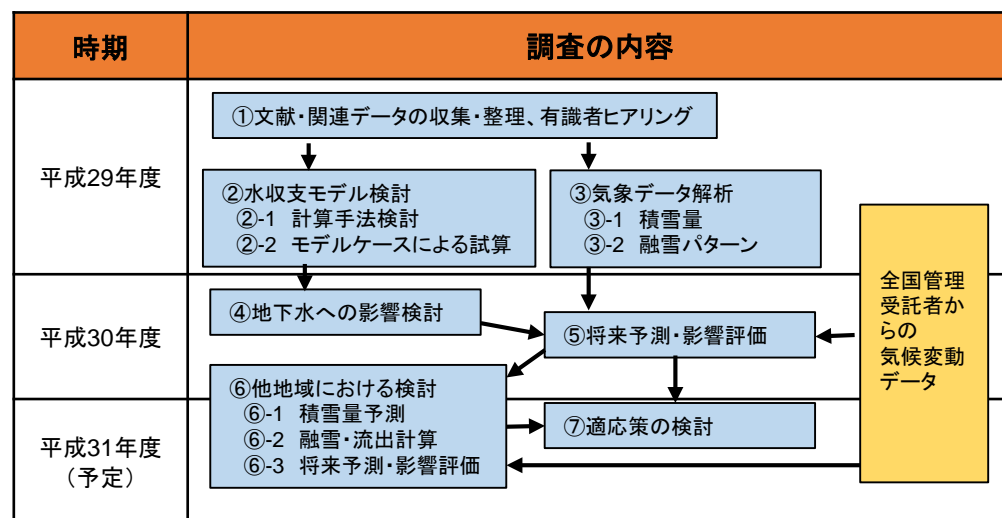


図. 黒部川扇状地
地下水位の時系列
変化の例
(提供:富山県立大学
手計准教授)

■ 調査計画



■ 実施体制

